



委嘱状を手にする和光さん

### 地域おこし協力隊 和光大さんに委嘱状交付

町は6月6日、プロサーファーでクリエイターの和光大さんに地域おこし協力隊(起業型)の委嘱状(交付日4月1日付)を手渡しました。

和光さんは、神奈川県鎌倉市出身。中学卒業後にオーストラリアに留学し、20歳で日本に戻りサーフィンの公認プロに。また、令和元年から「自然と旅」をテーマにした映画も自主制作しています。和光さんは「サーフィンや日常生活情報を発信し、共感してくれる人を厚真町に呼びたい」と抱負を語りました。

### 町民が花壇づくりに汗

6月に入り、町民による花壇づくりが各地で進められ、愛らしい花が道行く人の目を楽しませています。

6月6日には、厚真建設協会の15人が、厚真大橋の交差点にある8つの大型花壇に8種類880本の花の苗を植えました。鈴木英毅会長は「水田も緑色になり、花壇づくりを通じて季節を感じます」と笑顔で話しました。

また、この日は厚北地域防災コミュニティセンター「ならやま」でも初めて、近隣住民ら約10人がブルーサルビアなどを植えて、施設に彩りを添えました。

6月9日は、厚真市街地で花壇整備があり、花フレンズや商工会女性部、町議会、北海道電力株式会社苫東厚真発電所、地域おこし協力隊など35人が参加しました。86カ所の街路樹下にピンクや紫色のペチュニアなどを植えました。



厚真建設協会が整備した大型花壇



役場前の花壇を整備する参加者たち

### 新生児を祝う君の椅子111脚に



笑顔に包まれた君の椅子の贈呈式

新生児の誕生を祝い、健やかな成長への願いを込めた「君の椅子」プロジェクト。総合ケアセンターゆくりで6月10日に贈呈式が行われ、贈った椅子の累計は111脚になりました。

プロジェクトは、平成18年に北海道文化財団理事長で元旭川大学大学院教授の磯田憲一さんらが始めたもので、道内外の11町村がプロジェクトに参加していて、厚真町は胆振東部地震を機に参加しています。

毎年、国内外のデザイナーが椅子のデザインを考案し、旭川市の家具職人が道産材で製作。座面の裏に子どもの名前が刻印された「世界に一つ」だけのオリジナルです。

この日の贈呈式には8人のお子さんが出席しました。宮坂町長は「子育ては大変ですが、夫婦で楽しみながら子どもの成長を見守ってください」と話し、一人ひとりに椅子を贈りました。



百寿のお祝いを喜ぶ佐久間さん(中央)や親類たち

### 佐久間しげ子さんに百寿のお祝い

5月17日、宮坂町長が高齢者グループホーム「えがおの家」を訪れ、佐久間しげ子さん(豊沢)に百寿の祝い品を贈りました。

町長から賞状と記念品を受け取った佐久間さんは、感謝の気持ちを伝え、指で小さなハートマークを作って記念撮影に応えました。

佐久間さんは、百歳の節目にこどもやグループホーム利用者と楽しいひと時を過ごしました。

### 胆振地区造園技能士会が こども園に花の苗とプランター贈る



花の苗を植え、笑顔を見せるこども園つみきの園児

胆振地区造園技能士会(鎌田匡峰会長)は5月24日、宮の森こども園とこども園つみに花の苗とプランターを贈り、園児と一緒に花壇を作りました。

同会は、数年前から公共施設を中心に花の苗を贈っています。冬期間に苗を育て、プランターを収める木箱も作りました。

青空の下、両こども園を訪れた関係者は、前庭に花の苗などを搬入。興味津々の園児たちは、手ほどきを受けながらサルビアとマリーゴールドを植えました。鎌田会長は「園児との会話が楽しく、喜んでもらえてよかった」と話していました。

### 3年ぶりの町高齢者大学入学式 8人が入学



3年ぶりに行われた厚真町高齢者大学入学式

令和4年度厚真町高齢者大学の入学式が5月26日、新入生8人を含む約50人が出席して総合福祉センター大集会室で開かれました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、3年ぶりの入学式になりました。本年度は70歳から94歳までの62人が在学。講話やペタンク大会など、年4回の行事を予定しています。

入学式では、西野副町長が「1年を通じて交流や融和を深めてください」とあいさつし、生徒会長の木下八重子さんが「開校は、私たち生徒にとって大きな喜びです。社会参加して多くを学びましょう」と呼びかけました。